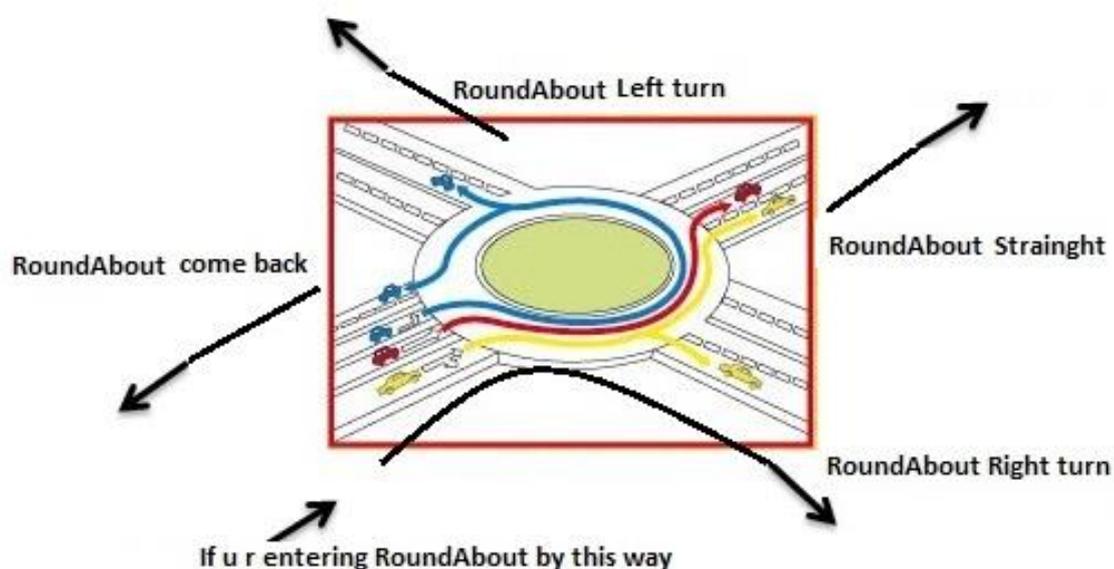


## ラウンドアバウト（環状交差点）の通過方法について

ラウンドアバウトとは、反時計回りに進行し、目的の出口から離脱するという交差点です。進入時に一時停止の必要がなく、合流と分岐を繰り返すことで、より安全に進行方向を変えられることが特徴です。オマーンでは、幹線道路や高速道路は片側2車線から3車線あり、幅も広く、比較的運転はし易いと言えますが、一部の交差点では英国式のラウンドアバウトが採用されているため、慣れない場合通行に注意が必要です。あまり日本でなじみのないラウンドアバウトの通過方法について簡単に紹介致します。



- ◇ ラウンドアバウトに進入する際は、原則左方直近の車両が優先となります。交差点内に他の車両が無いようであれば、そのまま進行してかまいません。他の車がある場合は、目視で確認し、十分な距離を確保しながら交差点内に進入してください。交差点内では立ち止まらずに適度なスピードを保ちながら走行してください。
- ◇ 2車線以上あるラウンドアバウト（上図）に進入する際には、道路標識や路面標示で特に指示されていない限り、以下のように進行してください。
  1. **右折時**  
ラウンドアバウトには、一番**右寄り**の車線から進入し、ラウンドアバウト内でも、右車線を維持します。ラウンドアバウト進入時および通過中は、右折の方向指示器を点灯させます。
  2. **直進時**  
**右寄り**車線（3車線の場合には、中央車線も可）から進入し、ラウンドアバウト内でも同じ車線を走行します。離脱したい出口の「一つ前の出口」を過ぎた時点で、右折の方向指示器を点灯させます。

### 3. **左折時・Uターン時**

ラウンドアバウトには、一番**左寄り**の車線から進入し、ラウンドアバウト内でも同じ車線を走行します。ラウンドアバウトに進入する際から左折の方向指示器を点灯させ離脱したい出口の「一つ前の出口」まで点灯したままにします。その後、方向指示器を右折に切り替え、離脱します。

- ◇ 最近では、3車線のラウンドアバウトに信号機がつけられているケース（右写真）も見受けられます。
- ◇ 実際に、過去の事故の事例では、中央の車線を先行していた車両に、内側車線を後進してきた車両が側面衝突した事案で、警察当局は、先行車両に100%の非があると判断しています。



※ 以上は参考です。オマーン法令及び、オマーン当局の判断・指示が優先します。